

朝日新聞 2009(平成21)年8月5日(水) 佐賀版 ぶらりミュージアム



県立博物館・美術館

県立博物館・美術館で31日まで開催している「ふるさとは地球!! エコロジー博物館・美術館」の、有明海の生き物と魚を取る道具というコーナーでは、生体展示をしています。

ヤマノカミは、日本では有明海に注ぐ川だけに見られる特産種です。3月～4月に有明海で孵化し、5月に河川を遡上し、上流で水生昆虫や小さな魚類をえさとし、12月～1月に河川を

有明海生息環境保護の象徴

ヤマノカミ

下り、有明海でカキの空き殻に産卵して一生を終えると考えられています。

展示中の個体は、今年5月の遡上を調査した際に捕獲しました。本庄江、嘉瀬川、八田江の3カ所を調べ、いずれも遡上を確認できました。えさとなる魚やエビなどが豊かに生息できる環境が維持されないと、ヤマノカミは生育できません。環境保護のシンボルとなる魚といえます。

(県立博物館・美術館)
 (学芸課主査)
 矢川慎一郎

メモ 佐賀市城内1の15の23。電話0952・24・3947。バス停「博物館前」下車、徒歩1分。開館は午前9時半～午後6時。月曜(祝日なら翌日)休館(31日は除く)。



ヤマノカミ／環境省レッドデータブック(RDB)絶滅危惧Ⅱ類、佐賀県RDB絶滅危惧Ⅱ類種／全長5センチ／佐賀市嘉瀬町で採集